

# 第36回 ことう地域チームケア研究会



くすのきセンター

1階 研修室

平成31年1月10日(木)

# 交 流 会

- 講演を聞いた感想・もっと知りたいこと
- 歯科との連携
- 自分の職種では何ができるか など

❀ グループ発表後は、自己紹介タイムです。

## 今、困っていること、歯科治療や口腔ケアの対応の現状

- 歯科や口腔については、「困っていることないですか？」を聞く程度である。
- 「口の中のアセスメントの知識がない」、「家族も関心がない」といったことで歯のことは後回しの対応になってしまう状況がある。
- どういう風に歯科につないだらいいのかわからない。
- 義歯が合わないと、義歯の調整ではなく食事で調整してしまっている。
- 口の中を見せてもらうことが難しい。話をしている時に見るくらいという現状
- 「口腔ケアがうまくできない」 認知症の方やレベルの落ちた方への口腔ケアがうまくできない場合がある。ケアの方法を工夫する必要がある。
- 食事が食べられており、本人・家族が歯科に感心がない人にどのように歯科・口腔ケアの必要性について説明をしていくかが課題。

# 感じたこと、分かったこと、これからできることなど

## 【わかったこと】

- 「階段が上れない」、「近いけれど行けない」場合、どうすればいいか？  
→まずは、カルテのある(かかったことのある)医院に相談できるのが一番良い。なければ滋賀県歯科医師会に相談を。歯科医院を紹介してもらえる。保健所でも相談にのることができる。
- 口腔ケア用品の種類や入手方法、口腔ケアのコツを知ることができた。
- 認知症の方の新しい義歯への抵抗感への対応。
- 歯科の治療によって認知症状が改善した事例があること。
- 「8020」達成している人は50%近い。
- 電動歯ブラシを使用している場合も、過信せず綺麗に磨けているか確認が必要であること。

## 【歯に関心をもとう！】

- 高齢者の見えない部分を見つけていくことが体の変化の発見に繋がる。
- 話題提供を聞いて、口腔ケアの重要性、歯は命だと感じた。
- 多職種が協力して口の中を見て、ケアをしていくことが大切。
- 歯や口腔の状態が良いのか悪いのか分からないというのは、基本的な知識が不足しているからではないかと感じる。情報交換などを通じて関心を高めることが必要。
- 訪問診療への対応が難しい現状があるので、様々な専門職が研修の機会を持って、知識を深め、各専門職で対応できることはしていけるようにすることも必要ではないか。
- 意識改革が必要。痛みなどの症状が出ないと感心をもたないが、口の中の状態はとても大事。まず自分の口腔内にも目を向ける。そして利用者にも定期受診を勧めていこう。
- 要支援の方に口の中のこと聞きにくい、全身状態にも関わるので意識を持っていただけるような働きかけが必要だと思った。

## 【予防は大事！】

- 介護になってからではなく、予防の取り組みに力を入れるべきである。自分自身も。
- 利用者は初対面の人に歯を見せることに抵抗があると思うので、かかりつけや顔の見える関係を元気な時から作っていく必要があると感じた。
- 歯や口腔内の状態にもっと目を向ける必要がある。
- 予防が大事。「オーラルフレイル」 口腔内のささいな変化から全身状態の低下につながってしまう。ささいな機能の低下にいち早く気づこう！

## 【今取り組んでいること、これから取り組めるとよいと思うことなど】

- 施設では入所時に歯のチェックや定期的な検診を行ったりすることができるとよいのではないかな。
- 障害者支援をしている。歯科に力を入れていきたいと思っている。歯科の障害者事業所訪問の事業を利用し、希望する方には歯科医師による検診をしてもらった。検診結果は家族等に報告しているが、治療につながるように、その後のフォローが重要だと感じた。「検診ー治療」につなげるための支援が重要である。
- デイサービスでの取組：利用者の誕生日に歯ブラシをチェック。本人に適したものを使ってもらえるようにしたい。

## 【歯科医師や歯科衛生士との連携】

- 歯科医院で歯ブラシを選定してもらえるとよいのではないかな。
- 歯科衛生士の施設での取組により施設では口腔ケアができている。在宅でも取組が広がると良い。
- 歯科衛生士が在宅を訪問し、支援してもらえるとよいと思った。気軽に相談もできるのではないかなと思う。
- 義歯は作ってもすぐに使えるわけではない。リハビリが必要であることを理解して、義歯ができた後も継続して一緒に対応していけるようにする必要がある。

# 《彦根保健所より情報提供》

「湖東地域歯科医療機関情報」第4版製作中！

平成31年2月頃完成予定

60箇所 of 歯科医院の情報掲載

**ぜひご活用ください！**